

V 英作文のあやまりと指導について

平 野 幸 雄

1. 対 象 学 年

昨年度の中学三年生 (男子 30 名, 女子 27 名)

2. 英作文の授業の仕方

私は昨年度週二時間英作文の授業を担当していたがその授業の仕方は次のようにした。

(イ)原則として予習は強要せずに例文を参照してその時間の始めに練習問題を考えさせ、生徒各人の努力によってこちらの考えている英文を考え出させた。

(ロ)例文、練習問題の英文を基として、単語の入れかえによる口頭練習をさせた。

(ハ)次の時間の最初に、前の課の復習として前の課の例文の暗誦と単語の入れかえによる応用問題の練習を口頭で練習させた。この場合、単語よりも構文の理解に力を注いだ。

3. 実施したテストとそのあやまりについて

実施したテストは第一学期の期末テストとして次の10題であり、あやまりの主なものは次の如きものであった。テストは授業中に行ったものそのまゝでなく、所謂口頭練習を行ったものを主として出題した。

(イ)海上には船が何隻ありますか。

解答完全なもの36名、are there を落したものの16名、many ship としたものの5名、sea の代りに see としたものの7名。

(ロ)名を小文字で書き始めてはいけない。

解答完全なもの18名、begin to write の代りに begin write としたものの10名、a small letter の代りに small letter としたものの6名、with を落したものの7名。

(ハ)この山を何といいますか。浅間山といいません。

解答完全なもの14名、mountain と正しく書けないもの15名、「この山」を this mt (mt.) としたものの7名、called の代りに cold としたものの7名。

(ニ)私は毎朝七時半に家を出て学校へ行きます。

解答完全なもの26名、morning が正しく書けないもの9名、leave が正しく書けないで reave, lieve 等としたものの8名。

(ホ)彼は走っていますが、歩いていますか。

解答完全なもの28名、running と正しく書けなくて ranning, runing, raning 等としたものの10名。

(ヘ)太陽は西に沈みつゝあり、月は東から昇りつゝあります。

解答完全なもの13名。is setting の代りに is seting, is siting 等としたものの13名。is rising の代りに is raising, is riseing 等としたものの13名。

(ト)何故彼等は日曜日に学校へ行かないか。

解答完全なもの27名、Sunday の代りに sunday, Sanday, Sondag 等としたものの11名。

(チ)あなたのナイフを使ってもいいですか。

いいえ、いけません。
解答完全なもの29名、knife が正しく書けないで knaife 等としたものの19名。

(リ)私は明日ここに来なければなりませんか。いいえ、来るに及びません。

解答完全なもの22名、tomorrow と正しく書けないもの11名。

(ル)山田君が昨日戸口のところで貴方を約一時間

半待っていました。

解答完全なもの3名，was waiting for の代りに waited for としたもの11名。for about an hour and a half の代りに about for an hour and a half として about の位置をまちがえたもの21名，for を落したものの18名，yesterday と正しく書けなかったものの13名。

4. 指導法とその反省

英作文の授業はとかく指名されたもののみの授業となって，指名されない生徒には，ノートを取るだけの時間となり易い。教室にいる生徒全員のための英作文の授業とするには口頭練習を主とした授業の方が，新しい教授法の観点からいっても生徒個々の学習効果からいっても望ましいと考える。然し口頭練習で構文に主力を注ぎ，単語の置きかえを行って来た欠陥がテストの (1) における see, (2) の cold, (3) の reave, lieve, (4) の ranning, runing, raning, (5) の seting, raising

riseing, (6) の sunday, Sanday, Sonday, (7) の knaife, (8) の tomorow (9) の yestaday となっていてあらわれてきていることは，担当教官として大いに反省させられたことである。

次に(1)における many ship , (4) の small letter の如き問題が残る。即ち many は複数概念をあらわすことは生徒の個々にはよくわかっているのに，実際は big や small と同じような形容詞として処理されがちであり，(4) の場合は a letter と正しく書いてもその前に形容詞がつくと形容詞のこのことのみ考えて冠詞，数詞のことを忘れがちである。

口頭練習を主とした英作文の指導には上述の如き欠陥があらわれたが，これを是正する方法は生徒に手を動かさせることだと思う。即ち単に口頭練習をさせるだけでなく，口頭練習をさせた直後ノートにその文を書かせてすぐに自分のあやまりを発見させ，そのあやまった単語を適当な時間に練習させるという方法である。この点数学の学習と非常によく似ているように思われる。